

北辰テスト[国語]の勉強法

傾向

北辰テストの国語は大問5問で構成されています。これは埼玉県公立高校入試とほぼ同じ形式です。

| 大問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|----------|----------------------|----------|------|-----|
| 内容 | 文学的文章の読解 | 総合問題 (漢字、文法、話し合い) | 説明的文章の読解 | 古文読解 | 作文 |
| 配点 | 26点 | 24点 | 26点 | 12点 | 12点 |

昨年度の北辰テストはこの形式で実施

学習の取り組み方

■文章読解

文学的文章と説明的文章の文章読解は問題文の形式・レベルを公立入試に合わせ、文章量がかなり多くなっています。設問に対して本文中の内容を参考にしながら、**本文の内容を自分の言葉でまとめる記述問題**も出題されます。

北辰の過去問演習を行い、**「なぜその答えになったのか」を他人に説明できるレベル**になるまで、熟読、問題の復習を行いましょう。

■総合問題

総合問題は、漢字や文法事項などの知識事項が多く問われます。

文法事項が問われる問題は近年少ない傾向にありますが、**修飾関係や主語・述語の発見などは文学的文章・説明的文章を読み解く上でも非常に重要**です。

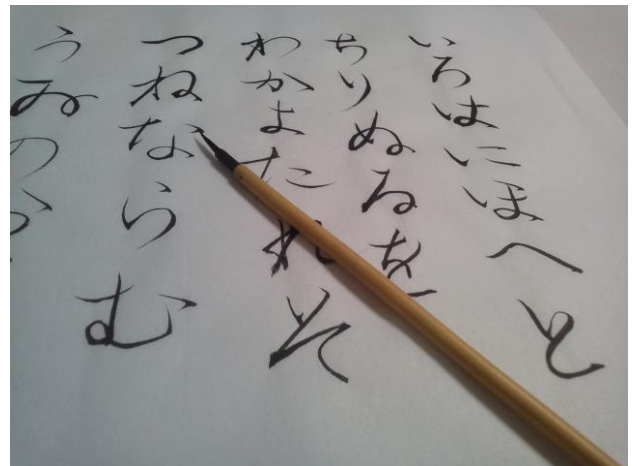
■古文読解

古文読解問題は、教科書レベルの文法事項・単語を覚えるようにしましょう。志英館から夏期に配布される宿題テキストに掲載されている古文単語を覚えることで、北辰テストレベルの古文には充分に対応することができます。

■作文

作文問題は、とにかく量をこなしましょう。多くの量を書くことで、短時間で作文を書くことができるようになり、発想力も身につきます。

書いた作文は学校の先生や志英館の先生の**添削指導**を受けるようにしましょう。



高得点を目指すには

■過去問題をすべてやり切ること

過去問を全て解き、「なぜその答えになったのか」をすべて説明することができるまでやり切れれば、高得点を取ることができます。

「北辰のかこもん」は書籍(2022年度版)以外にもファミリーマートのマルチコピーで購入することができます。

■選択肢がある問題は選択肢を隠して解いてみる

説明的文章、文学的文章の設問では、「～はどういうことか」「～と述べたのはなぜか」と問われる問題が圧倒的に多く出題されます。対応力を上げるためにも、選択肢に頼るのではなく、選択肢を隠し、本文中の言葉を使って記述式で解答をする練習をしてみましょう。記述対策になるだけでなく、圧倒的に国語力を上げることができます。



■語彙力の強化、知っている単語の数を増やす

語彙力の強化には以下のような参考書を使って、自学自習を進めましょう。受験に出る単語の意味をしっかりと理解することが重要です。

- ☑ 国語が苦手な生徒…深谷圭介著 『小学校6年生までに必要な語彙力が1冊でしっかり身につく本』 かんき出版
- ☑ 国語が得意な生徒…吉岡哲著 『中学国語力を伸ばす1700』 文英堂

■「読書」よりも「問題演習」

長期的な国語の学習をするのであれば読書がもっとも有効な学習であることは間違いありません。しかし受験勉強に限るのであれば問題演習がもっとも成績を伸ばす学習方法です。問題を解いていく中で、問われ方のパターンに気づき、解答の根拠の見つけ方が徐々に身についていくはずですが、これまで本をたくさん読んでいる受験生に追いつくためにも、国語に苦手意識のある方は問題演習に力を入れましょう。

